

6 月東大本番レベル模試 (2018 年 6 月 10 日実施)

採点基準 地理

1 単答記述問題

誤字, 脱字, 漢字間違いは 0 点。

2 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また, その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし, 満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは, 設問 1 問につき 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは, 設問 1 問につき 1 点減点。
- ③ 字数オーバーは, 設問 1 問につき 1 点減点。

*減点しなくていい要素, その他の注意

- ④ 地理用語に関して, 漢字の新字体/旧字体や, スロヴェニア⇄スロベニア, パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ⑤ 加点要素以外で誤った記述があった場合, その部分は 0 点だが, 減点はしない。
- ⑥ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく, 字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ⑦ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

- | | |
|-----------|------------------|
| 1. <□□□□> | 加点ポイント |
| 2. □□□□ | 事実誤認、文意不明、誤字脱字など |

5 設問別採点基準

第1問 配点 20 点

設問 A (計 12 点)

(1) 全て正解で 4 点

(ア)-d (イ)-b (ウ)-e (エ)-c (オ)-f (カ)-a

※4~5 個正解→3 点、2~3 個正解→2 点、1 個正解→1 点、0 個正解→0 点

(2) 4 点

亜熱帯高圧帯の影響下にある d では年中乾燥する。夏は海から、冬は大陸からの季節風が吹く f では、夏に多雨で、冬に乾燥する。(59 字)

【加点ポイント】

- ① (d について) 亜熱帯高圧帯の影響下にある →1 点
- ② (d について) (①の結果) 年中乾燥する →1 点
- ③ (f について) 夏は海から、冬は大陸から季節風が吹く →1 点
- ④ (f について) (③の結果) 夏は多雨で、冬は乾燥する →1 点

(3) 4 点

b では綿花畑への灌漑用水の過剰取水でアラル海の湖水面積が縮小した。d では小麦を栽培するセンターピット農法で地下水位の低下を招いた。また、両者とも農地の塩類集積が生じた。(85 字)

【加点ポイント】

- ① (b について) 綿花畑への灌漑用水の過剰取水を行っている →1 点
- ② (b について) (①の結果) アラル海の湖水面積が縮小した →1 点
- ③ (d について) 小麦を栽培するセンターピット農法で地下水位の低下を招いた →1 点

1 点

- ④ (b と d では) 両地域とも、農地の塩類集積が生じた →1 点

設問 B (計 8 点)

(1) 3 点

スペイン-(ス)

人口密度が大きい X は、人口稠密のアジアに位置する朝鮮半島である。メセタや新期造山帯があるスペインは平均標高が高い。(57 字)

- ① スペイン-(ス)であることの指摘 →1 点
- ② (半島判断の理由として) X は人口密度が大きいので朝鮮半島である/Y は相対的に人口密度が小さいのでイベリア半島である →1 点

2018 年度 6 月東大本番レベル模試地理 採点基準

③ (国の判断の理由として) スペインはメセタや新期造山帯があり平均標高が高い → 1 点

(2) 2 点

X 半島では冬の寒さ対策としてオンドルという床暖房を用いる。Y 半島では夏の日ざしを避けるため、窓が小さく壁が厚くて白い。(59 字)

【加点ポイント】

① (X 半島について) 冬の寒さ対策としてオンドルという床暖房を用いる →1 点

② (Y 半島について) 夏の日ざしを避けるため、窓が小さく壁が厚くて白い →1 点

※ (①について) “床暖房”ということが指摘してあれば点を与える。“オンドル”の言及は不問。

※ (②について) “窓が小さい”“壁が厚くて白い”どちらか一方について言及してあれば点を与える(注: 2つ書いてあっても、1 点に留まる)。

(3) 3 点

韓国は温室を整備して大消費地日本への輸出向け生産を強化した。域内関税を撤廃した EU の拡大でスペインの輸出が増加した。(58 字)

【加点ポイント】

① (韓国について) 温室を整備して大消費地日本への輸出向け生産を強化した →1 点

② (スペインについて) 域内関税を撤廃している EU に加盟している →1 点

③ (スペインについて) (②のような) EU が拡大したことに伴い、輸出が増加 →1 点

※ (①について) 単に“近隣に日本があるから”という指摘では増加の理由として不十分であり、“整備”や“強化”により増加したという因果関係を示す必要有。

第2問 配点 20 点

設問 A (計 11 点)

(1) 全て正解で 2 点

A・ロシア B・日本 C・アメリカ合衆国

※1~2 個正解→1 点、0 個正解→0 点

(2) 2 点

リーマンショック後の不況で消費が冷え込み、輸入が減少した。(29 字)

【加点ポイント】

① リーマンショック後の不況で消費が冷え込んだ →1 点

② (①の結果) 輸入が減少した。 →1 点

2018 年度 6 月東大本番レベル模試地理 採点基準

(3) 4 点

福島第一原子力発電所の事故後に火力発電の割合が高まり、化石燃料の輸入量が増えて貿易赤字となったが、アメリカ合衆国のシェール革命で化石燃料の輸入価格が下落し、再び貿易黒字となった。(89 字)

【加点ポイント】

- ① (2011 年の貿易赤字の理由として) 福島第一原子力発電所の事故後、火力発電の割合が高まる →1 点
- ② (2011 年の貿易赤字の理由として) (①の結果) 化石燃料の輸入が増加した →1 点
- ③ (2011 年の貿易黒字の理由として) アメリカ合衆国でシェール革命が起こった →1 点
- ④ (2011 年の貿易黒字の理由として) (③の結果) 化石燃料の輸入価格が下落した →1 点

※ (①について) “原子力発電所の事故” と “火力発電の割合増加” がそろって初めて点を与える。

※ (③について) “アメリカ合衆国で” の言及は不問とする。

(4) 3 点

EU 拡大で関税障壁のない輸出相手国が増えたほか、ギリシャ経済危機等によるユーロ安が EU 域外への輸出に有利に働いたため。(59 字)

【加点ポイント】

- ① EU 拡大で関税障壁のない輸出相手国が増えた →1 点
- ② ギリシャ経済危機等が発生した →1 点
- ③ (②による) ユーロ安が EU 域外への輸出に有利に働いた →1 点

設問 B (計 4 点)

(1) 1 点 (完答)

ア-コーヒー豆 イ-大豆

(2) 3 点

機械化された大豆栽培の拡大は、大量の農園労働者を余剰労働力とし、外資からの借金に頼った工業化は、累積債務を生み出した。(59 字)

【加点ポイント】

- ① 機械化された大豆栽培の拡大 →1 点
- ② (①の結果) 大量の農園労働者が余剰労働力となった →1 点
- ③ 外資の借金に頼った工業化は、累積債務を生み出した →1 点

2018 年度 6 月東大本番レベル模試地理 採点基準

設問 C (計 5 点)

(1) 1 点 (完答)

X-イギリス Y-日本

(2) 4 点

旧宗主国のイギリスが EC との貿易に重心を移したため、移民政策を白豪主義から多文化主義に改め、アジアとの貿易を強化した。(59 字)

【加点ポイント】

- ① 旧宗主国のイギリス →1 点
- ② (①が) EC との貿易に中心を移した →1 点
- ③ 移民政策を白豪主義から多文化主義に改めた →1 点
- ④ (③の結果) アジアとの貿易を強化した →1 点

第 3 問 配点 20 点

設問 A (計 10 点)

(1) 全て正解で 2 点

A-カリフォルニア B-ミシガン C-ユタ D-ミシシッピ

※1~3 個正解→1 点、0 個正解→0 点

(2) 2 点

買収される前のロシア領だった時代に先住民が布教されたため。(29 字)

【加点ポイント】

- ① 買収される前のロシア領だった時代に →1 点
- ② 先住民が布教された →1 点

※①はアラスカが“旧ロシア領であった”ことが読み取ればいい。

※②はロシアでは東方正教が信仰されており、それが先住民に伝えられたことが読み取ればいい。

(ex.東方正教が信仰されているロシアの旧植民地であったから →2 点)

(3) 2 点

メキシコなどからの移民であるヒスパニックは、農業の季節労働やサービス業・建築業など低賃金労働力として産業を支えている。(59 字)

【加点ポイント】

- ① (民族集団について) メキシコなどからの移民であるヒスパニック →1 点
- ② (①の役割は) 農業の季節労働やサービス業・建築業など低賃金労働力として産業を支えている →1 点

※②は“低賃金労働力”であることが読み取ればいい。

2018 年度 6 月東大本番レベル模試地理 採点基準

(4) 4 点

はじめは綿花地帯の奴隷労働力として導入されたが、農作業の機械化により就業機会を失い、南部の工業化に伴って、組織率の低い労働力を求めて進出した自動車工場などの製造業に就業している。(89 字)

【加点ポイント】

- ① はじめは綿花地帯の奴隷労働力として導入された →1 点
- ② (①は) 農作業の機械化により就業機会を失った →1 点
- ③ 労働力の組織率が低い南部で工業化が進展 →1 点
- ④ (③の結果) 自動車工場などの製造業が立地し、(②の人々が) それに就業した →1 点

設問 B (計 10 点)

(1) 全て正解で 2 点

ア-千葉 イ-福岡 ウ-長野 エ-沖縄
※1~3 個正解→1 点、0 個正解→0 点

(2) 3 点

県民の所得水準や進学率がそれほど高くないために県内の大学定員に収容しやすいうえ、費用のかさむ他県への進学が難しいため。(59 字)

【加点ポイント】

- ① 県民の所得水準や進学率がそれほど高くない →1 点
 - ② (①の結果) 県内の大学定員に収容しやすい →1 点
 - ③ (①の結果) 費用のかさむ他県への進学が難しい →1 点
- #### (3) 2 点

アや茨城は大学が集積する東京の通学圏に含まれ流出が多いが、イや広島は各地域圏の中核都市を持ち県内の大学定員が多いため。(59 字)

【加点ポイント】

- ①アや茨城は大学が集積する東京の通学圏に含まれ流出が多い →1 点
- ②イや広島は、各地域圏の中核都市を持ち県内の大学定員が多い →1 点

(4) 3 点

デフレ経済や世界金融危機の影響で出費抑制が必要となると、少子化によって関係が濃密化した保護者と子が地元志向で一致した。(59 字)

【加点ポイント】

- ①デフレ経済や世界金融危機の影響で出費抑制が必要となる →1 点
- ②少子化によって保護者と子の関係が濃密化した →1 点
- ③ (①, ②の結果) 地元志向が強まった →1 点